

平成 26 年 12 月吉日

会員 各位

特定非営利活動法人 日本核医学技術学会
理事長 林 万寿夫

核医学診療における RI の実投与量調査のお願い

放射線診療に係るすべての学会・団体に構成されている医療被ばく研究情報ネットワーク (Japan Network for Research and Information on Medical Exposures : J-RIME、代表：米倉義晴放射線医学総合研究所理事長) では、平成 27 年 4 月に All-Japan による本邦の診断参考レベルを作成、公開し医療被ばくの最適化を推進していくことにしています。核医学診療では世界的に実際に患者に投与した放射線量 (実投与量) で示されています。しかしながら、本邦で診断参考レベル的に示されている投与量や収集されたデータは検定量が多いのが実情です。また、現在、原子放射線の影響に関する国連科学委員会 (United Nations Scientific Committee on the Effects of Atomic Radiation : UNSCEAR) では医療被ばくの世界的な調査 (グローバルサーベイ) を実施することとしており、本邦にも回答が求められております。そこで、本学会では核医学診療における実投与量と UNSCEAR のグローバルサーベイへの回答に必要なデータを収集すべく、核医学に関連する日本核医学会、日本放射線技術学会ならびに日本診療放射線技師会とともに全国調査を実施することにいたしました。

業務煩多な折、大変恐縮ですが趣旨にご理解を賜りご協力をお願いいたします。

なお、本調査は Web 上で回答いただく形式にしております。下記のサイトにパスワードを使ってアクセスして「核医学診療における RI の実投与量調査アンケート」と記載された入口から回答サイトにお入りください。また、本調査では今後の核医学関連の調査における利便性を向上させるために貴施設の都道府県番号と医療機関番号の調査も合わせて実施いたします。詳細につきましては上記サイトに掲載しております「記入上の注意点」(PDF) をご確認くださいご回答いただきますようお願いいたします。

また、本学会を含む 4 団体は全国の核医学診療施設に対して同時に「患者数および CT 線量調査」も依頼しており、日本核医学会評議員施設を対象にしています。回答サイトは下記とは異なり依頼状に記させていただいております。日本核医学会評議員の先生方より調査・回答を依頼されることもあるかと存じますがご協力をお願いいたします。日本核医学会評議員核医学診療施設の皆様には大変恐縮ですが「核医学実投与量全国調査」と「日本核医学会評議員施設対象患者数および CT 線量調査」の両方にそれぞれ 1 施設 1 回答で、間違いのないように回答いただきますようお願いいたします。

また、本調査結果は日本核医学会の発刊する雑誌に掲載させていただく予定です。また、本調査で得られたデータは上記趣旨以外には使用いたしません。さらに、個々の施設のデータを公開することはありません。

最後に、貴施設のますますのご発展を祈念申し上げます。

調査票のご回答方法

直接下記のアドレスを入力して調査票掲載ホームページにアクセスして下記パスワードを使ってサイトにお入りください。学会ホームページからはリンクしておりません。

平成 27 年 1 月 6 日 12 : 00 までにご回答をお願い申し上げます。

全国調査票掲載ホームページアドレス : <http://www.jsnm.org/unscear001>

パスワード : nm26 (仮) *パスワードは半角英数字